

「職業実践専門課程の充実に向けて 骨子（案）」構成一覧

1. はじめに

2. 職業実践専門課程に係る基本的認識の共有

- ① 職業実践専門課程制度化の経緯
- ② 職業実践専門課程の意義（基本コンセプト）
- ③ 職業実践専門課程の現状
- ④ 職業実践専門課程の課題

3. 職業実践専門課程の充実に向けた課題

(1) 学習目標の具体化

- ① 育成人材像の明確化
- ② 到達目標の明確化

(2) 教育課程の編成・実施

- ① 教育目標の明確化
- ② 教育課程編成委員会のあり方
- ③ 実習・演習等のあり方
- ④ 組織的な教員体制の構築

(3) 学習成果の可視化、実証及び情報公開

- i) ① 学習成果とは何か
 - ② 継続的な学習の記録、比較可能な各種データ
- ii) ① 企業等による卒業者評価
 - ② 将来的な第三者評価の実施を視野に入れた学校評価のあり方
- iii) ① データの収集と分析
 - ② 比較可能な基礎的データの公開
 - ③ 学校評価に関する情報の公開

(4) 経営基盤の強化

- ① 中期事業計画の策定
- ② 安定的なあるいは計画的な教育資源に対する投資のあり方

4. 職業実践専門課程の今後の展望

- ① 職業実践専門課程の制度・要件のあり方に関する具体的事項
- ② 都道府県との連携のあり方

5. 「専修学校の質の保証・向上」という観点から今後の検討が必要と思われる課題

- ・ これまでの制度改革による専門学校制度の複雑化の解消
- ・ 職業実践専門課程と修学支援新制度との重複感の解消
- ・ 人材輩出先となる連携企業等からの財政支援促進
- ・ 1年制専門学校卒業生への称号
- ・ 高度専門士制度および職業教育分野分類の検討推進
- ・ 遠隔授業の標準化（遠隔授業による教育の質の担保）
- ・ 東京規約への対応、NQFの構築による専門学校教育の国際的通用性の確保